



東北大学



2019.03.27 公表

東北大学「プラスチック・スマート」推進宣言

近年、プラスチックごみが海に流出し、世界中で海洋汚染を引き起こしています。この問題を解決するためには、ワンウェイ（使い捨て）のプラスチック容器包装・製品のリデュースが最も重要であり、事業者と国民双方の理解によって、ワンウェイのプラスチックの使用削減を実現する必要があります。大学は率先してリデュースの周知徹底・普及啓発を行い、プラスチックごみ問題に関する国民的理解醸成の一翼を担うべきであると考えます。

そのため、東北大学は「プラスチック・スマート」^{注1)}の推進を宣言することにしました。全教職員・学生に対しプラスチックごみ問題の理解を促し、キャンパス内に来店している事業者等と協力して、学内におけるワンウェイのプラスチック使用の削減を図ると共に、プラスチックの分別回収の徹底を進めます。

「東北大学版 SDGs 活動」^{注2)}の一環として、プラスチックのリサイクル・再資源化、石油系プラスチックの代替素材、海洋汚染防止技術等に関する学術研究に産業界と連携して取り組み、新技術の創成等の研究開発と人材育成を図り、社会実装に貢献します。

注 1) プラスチック・スマート

ポイ捨て撲滅を徹底した上で、不必要なワンウェイのプラスチックの排出抑制や分別回収の徹底など、「プラスチックとの賢い付き合い方」を全国的に促進するための国の取組です。

<http://plastics-smart.env.go.jp/>

「プラスチック・スマート」フォーラムは、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて、消費者を始め、自治体・NGO・企業などの幅広い主体が、一つの旗印の下に連携協働して取組を進めるためのプラットフォームです。

<http://plastics-smart.env.go.jp/about/forum>

注 2) 東北大学版 SDGs 活動

東北大学における「持続可能な社会の実現」に向けた独自の組織的な取組です。その中核は「社会にインパクトある研究」の 30 プロジェクトです。人類が持続的な世界を構築するために必要となる課題を整理し、東北大学の研究の伝統と強みを活かして構成した分野融合・学際研究を推進して、国連の SDGs 達成にも貢献していきます。

<http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/contents/sdgs.html>